

## 太田博之マニフェスト NEXT2016 評価総括表

### ■約束 1、 78/100 点

学校を核とした協働のまちづくり。地域コミュニティの再生を行います

町内会の加入率は目標に大きく及ばなかったものの、自主防災組織率は概ね目標値を達成できた。

また、市長マニフェストへ「三沢版コミュニティスクールの導入」並びに「地域担当職員の活性化」が盛り込まれた事は大きな成果である。

今後とも、「開かれた学校」をキーワードに地域の活力を創造して参りたい。

### ■約束 2、 70/100 点

地域資源を活用したまちづくり、雇用創出を行います

集団検診・がん検診とも目標値を達成するどころか、数値を下げてしまった。市民の健康に対する意識が低下している中、三沢市保健健康センターの駐車場整備や、受診受付が土・日曜日でもスカイプラザで出来るようになったことは大きな成果である。また、「三沢市健康都市宣言」が実現した事は、今後の活動に大きな弾みとなった。

地域資源の活用では、「(仮称)温泉の日の実験事業」が行われた事は、一つの成果であると考え。若者の雇用の問題は未だ不透明だが、今後とも地域の特性を生かしたコミュニティビジネスなど、起業に向け勉強して参りたい。

### ■約束 3、 67/100 点

議会が変わり、市民が主役の政治を実現します

10年ぶりに議会だより『きずな』が発行された。また、自身の政治活動に於いてもHPやSNSなど、「議会の見える化」を目指し、情報公開を継続的に行ってきた事は、褒めていただけるのではないかと。しかし、一方で議会に関わる条例等は「全会一致」との方針もあって議員間討議が活性化されていない。

しかし、時期改選後は、「議会基本条例」について議論されることになっており、制定に向け引き続き関わって行きたいと強く願うところである。

### ■その他

この4年間、一般質問で一番多く取り上げたのは選挙問題であった。市民の政治離れ、いわゆる投票率の問題は見逃すことは出来ない。そうした観点から取り組んで来たが、期日前投票所の増設、小中学校における主権者教育の充実など、ある程度の成果はあった。また、予算ゼロ事業がほぼ実現出来ていることも自負している。

しかし、一般質問を病欠で2回登壇出来なかったことは猛省している。何故なら、一般質問をする事は議員として、私は最低の“義務”だと思っているからである。